

令和4年度（2022年度）行政評価シート

令和4年6月3日

評価者	都市景観部長 古賀 久貴
-----	--------------

○ 施策の概要

総合計画上の位置付け	分野	3-(2) 都市景観	施策の方針	3-(2)-②歴史的風土の保存
目標とするまちの姿	国指定史跡、歴史的風土保存区域内の重要な地域に恒久的保存措置が施され、歴史的遺産と自然的環境が保存されています。「鎌倉市及び逗子市歴史的風土保存計画」に基づき適正な保存・活用が行われています。			
主な取組	(1)歴史的風土の保存 国民の財産である歴史的風土を守るため、国が定める「歴史的風土保存計画」及び「鎌倉市風致保全方針」に則り、都市における良好な風致の維持及び歴史的風土の保存を図ります。また、歴史的風土保存区域内の重要な地域の歴史的風土特別保存地区指定拡大に向け、指定権者である県と調整を進めます。さらに、歴史的風土の維持保存について普及啓発すること等により、意識の醸成と向上に取り組みます。			

1 成果指標

成果指標①	「豊かな歴史的遺産が大切に保存され、伝統的な文化が保存・継承されているまち」と感じている市民の割合					出典	市民アンケート調査		
初期値	単位	年次	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	備考
令和2年1月	%	目標値	85.0	85.0	85.0	85.0	85.0	85.0	
83.2		実績値	未実施	85.6					
		達成率	—	100.7%					
成果指標②	歴史的風土特別保存地区の指定面積					出典	鎌倉市のみどり		
初期値	単位	年次	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	備考
平成15年9月26日	ha	目標値	573.6	573.6	573.6	573.6	573.6	573.6	
573.6		実績値	573.6	573.6					
		達成率	100.0%	100.0%					

2 投入コスト

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
事業費	61	242				
人件費	31,600	31,648				
総事業費	31,661	31,890				

3 担当部評価

(1)「施策の方針の成果指標」の達成状況等を踏まえた施策の達成状況の分析

都市景観部

鎌倉の古都の景観を後世に継承していくためには、古都保存法及び風致地区制度の趣旨等について市民の理解と協力を得ることが必要である。風致地区事務においては、窓口や電話での問い合わせに対して丁寧な説明を心がけている。また、令和3年度は風致地区制度等に関する窓口配布用のパンフレットの作成、市内各所に点在する風致標柱の修繕、及び地下道ギャラリーを利用した市民等へのPRを行っていることから、歴史的遺産と自然的環境の保存に向けた取組は適切と評価している。

(2)今後の方向性

都市景観部

鎌倉の古都の景観や良好な自然的景観の維持を図るため、古都保存法の普及啓発や風致地区制度の制限等について市民等への周知を行うとともに、鎌倉市風致地区条例等に基づく許認可事務を実施していく。また、令和3年度は実施できなかった市民アンケート調査を実施していく。

(3)施策の方針にひもづく事務事業の評価結果

重点事業	整理番号	事業名	法定受託事務	事業費(千円)	人件費(千円)	総事業費(千円)	事業評価	貢献度	最終評価
	都景-03	風致地区事務		242	31,648	31,890	現状維持	A	現状維持

(4)貢献度に関する分析

都市景観部

古都保存法の普及啓発や風致地区制度の制限等について市民等への周知を行い、理解を得るとともに、鎌倉市風致地区条例等に基づく許認可事務を実施することにより、本市の歴史的風土の保存が図られているため、本事業は施策の方針の進捗に貢献しているものとする。